

きねん介護医療院が開院5周年を迎えることができました。皆様のご支援、ご協力に感謝申し上げます。これまで、地域の皆様の健康と福祉の向上を目指し、スタッフ一同全力で取り組んでまいりました。ご利用者様やご家族の方々からいただいた温かい励ましのお言葉を胸に、今後も安心・安全で信頼される施設を目指します。引き続きご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

みんなの笑顔が大好き
専門のスタッフが利用者様の
生活をサポートします。

●バイタルサインの正常値を把握しておくことは、非常に重要。主に「呼吸」「体温」「血圧」「脈拍」など数値を測定することで治療の効果や状態の変化異常を早期に発見することができます。



●利用者様やその家族の意向を取り入れ、一人ひとりに合わせたケアプランを作成して、利用者様が不安を抱えることなく、安心して日常生活を送れるようにサポートする重要な役割を担っています。



●食事介助は、自分の力で食事が摂取できない利用者様に、必要な量を誤嚥せずに注意し安全に食事ができるように介助します。食事は毎日の生活で大きな楽しみとなり食べることは、生きる活力になります。

管理栄養士

●咀嚼機能や嚥下機能が衰えた高齢者でも、美味しく食べられる献立作りをしたり、食べる楽しみを提供。一人ひとりの状態に合わせた栄養指導や栄養の管理を行っています。

薬剤師

今後の予定

●9月/敬老会

●10月ハロウィン

●クリスマス

「健康とは？」と人に問うた時、「食でしょう」と返ってきた。

病院で働いている知人は「しっかり食べている人は高齢者でも回復が早く、食べない人は、若くてもなかなか退院できない」と言っていた。味覚障害を患った知人は、「食べ物を口に入れると気持ち悪い」と治るまで食べようとしなかった。梅干しを前に涙した高齢者もいた。「好きだった梅干しの味が思い出せない」と。

生まれた瞬間から乳を求め鳴き、その生命を終える時まで食は生命と共に在る。生物が歯を失うことは生命の維持が難しくなる。肉食動物は狩りが出来なくなり食することが出来なくなる。草食動物も然り。ただ、人間だけが例外である。生に対して貪欲なのか、食に対して貪欲なのか。ただ、食べられれば良いというものではない。栄養が摂れば良いというものではない。食と共にある人生は、味の記憶、食に対する思い出が常にある。

それは心の健康に繋がっている。食は生命を維持し、心身の健康を維持すること。やはり健康の源は、食なのだと思わざるを得ない。

執筆 介護福祉士 矢野

●高齢者への薬剤適正使用はとても重要な問題。薬剤の効果や副作用をモニタリングしながら薬学的視点で継続的に調剤のみならず、服薬支援など、薬学的管理を行っています。

●医療の提供だけではなく、チーム医療の実践利用者や家族へのサポート、終末期医療医師は利用者のQOL(生活の質)を向上させるためにさまざまな側面で重要な役割を果たしています。

医師